



プレスリリース

2006年4月21日

東レ株式会社

BASF アクチェンゲゼルシャフト

## マレーシアにおけるPBTベースレジン合弁会社の稼働開始について

東レ株式会社(本社:東京都中央区)とBASF(本社:ドイツ・ルートヴィヒスハーフェン)はこのたび、マレーシア国パハン州クアンタンにおける両社折半出資のPBT(ポリブチレンテレフタレート)ベースレジン合弁生産会社「トーレ・BASF・PBTレジン社」(Toray BASF PBT Resin Sdn. Bhd. 以下:TBPR社)の新工場建設を無事完了し、稼働を開始しました。投資額は約4千万米ドル(約45億円)で、年6万トンのPBTベースレジンを生産します。

TBPR社は、東レの最新鋭重合技術を導入する一方、PBTの主原料であるBDO(1,4ブタンジオール)を同社に隣接した最新鋭の設備を有するBASFペトロナスケミカル社から調達することで、東レとBASFの両社向けに世界一の品質・コスト競争力を持つPBTベースレジンを供給します。同社で生産されたPBTベースレジンは、東レ、BASF各社の商標名(東レ:トレコン®、BASF:ウルトラデュアー®)で販売します。

東レはTBPR社のPBTベースレジンを、マレーシア国ペナンの当社ABS樹脂生産拠点であるトーレ・プラスチックス・マレーシア社(Toray Plastics (Malaysia) Sdn. Berhad(TPM社))を通じてアセアン、中国を中心に世界各地の東レグループ販売拠点に供給します。東レはTBPR社の稼働開始に合わせて、アジアを中心とする世界各地のグループ販売網、コンパウンド拠点ならびに技術開発拠点の整備・拡充を推進してきました。今後、これらを最適活用することで顧客満足度をさらに高め、東レのPBT樹脂:トレコン®のグローバル・プレゼンスをより一層強化していきます。

BASFにとってこの生産設備は、アジア地域での強いコミットメントを示すものです。顧客のニーズにより迅速に対応し、安定した製品供給を可能にします。BASFは、TBPR社のPBTベースレジンをマレーシア・パシグダンと、韓国・安山の既存のコンパウンド拠点に供給するとともに、現在、中国・浦東で建設中のコンパウンド拠点にも供給します。TBPR社の稼働は、2010年までにアジア・太平洋地域での化学事業の売上と収益を20%に引き上げ、現地生産比率を70%までに高めるというBASFの目標に向けての次なる一歩となります。

PBT樹脂は、耐熱性、耐薬品性、耐候性、電気特性等に優れたポリエステル系熱可塑性樹脂で、電機・電子部品やOA機器用精密部品、自動車の電装部品等に使用されています。今後は自動車の内外装部品をはじめ、一般工業機器や繊維、フィルム等への用途拡大が期待されています。一方、自動車や電機・電子業界においては、中国・アセアン地域への生産シフトが加速していることから、アジア地域におけるPBT樹脂の需要は年率10%の高成長が見込まれています。

トーレ・BASF・PBT・レジン社(Toray BASF PBT Resin Sdn. Bhd.)概要

1. 事業概要: PBT(ポリブチレンテレフタレート)ベースレジンの製造
2. 所在地: マレーシア国パハン州クアンタン
3. 設立: 2004年3月
4. 資本金: 5,200万マレーシア・リンギット(15億4千万円)
5. 出資比率: 東レ(株) 50%、BASF アクチェンゲゼルシャフト 50%
6. 生産能力: 60,000トン/年(直連重設備1系列)
7. 代表者: 宮崎 建(東レ(株)出身)
8. 社員数: 40人(2006年4月現在)
9. 操業開始: 2006年4月16日

以上

本件に関するお問い合わせ先

東レ株式会社

広報室広報課(担当:山縣)

TEL: 03-3245-5179

BASFジャパン株式会社

コーポレート・コミュニケーションズ(担当:山田)

TEL: 03-3238-2341